

学 生 支 援 サ ミ ッ ト 2017

実施報告書 2017



目次

1. はじめに・・・p. 1

2. 学生支援サミット 2017 概要・・・p. 2

- 趣旨
- 目的
- テーマ・内容
- 成果物・実践
- 日時・場所
- 対象
- プログラム
- 主催

3. 当日の参加状況・・・p. 4

- 学生・教員・職員の参加状況

4. 当日の流れ・・・p. 5

- 進行スライド

5. 参加者によって出された「交通問題」改善のためのアイデア・・・p. 10

- アイデア一覧と投票率
- 投票率が上位のアイデア
- 各グループからのアイデア発表スライド

6. 資料・・・p. 21

- 学生支援サミット 2017 ポスター
- 表彰状
- 三重大学ホームページ トピックス掲載記事

1. はじめに

三重大学では、「学生支援サミット」と名付けたイベントを毎年開催しています。これは、今後の三重大学の学生支援のあり方に関するビジョンを、学生、教員、職員がともに描き、共有し、それに基づいて三重大学の今後の学生支援やピアサポーター活動計画を作成する目的で、平成24年度より始まりました。毎回、テーマを設定し、参加者はグループに分かれて意見を出し合い、それを全員で共有します。

本年度の「学生支援サミット2017」は、サブタイトルに「学生、教員、職員で実現するユニバーシティ・エンゲイジメントプロジェクト」を掲げ、大学に誇りを感じ、皆が生き生きとしている状態の実現を目指してサミットを開催しました。議論のテーマを「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」とし、喫緊の課題である学内外の交通問題を改善するために、協働して活発にディスカッションを行い、アイデアの発表を行いました。本報告書は、この活動と成果をまとめたものです。

サミットによって出された、交通問題を解決するための活動や仕組みに関するアイデアを多くの方に知っていただき、学生生活環境の充実をはじめ、三重大学の発展の寄与につながる資料としてご覧いただけることを心よりお願い申し上げます。

また最後となりますが、学生支援サミットの企画・運営に関わりご協力を頂いた皆さま、当日参加し貴重なアイデアを出して頂いた学生・教職員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

学生総合支援センター

2. 学生支援サミット 2017 概要

○趣旨

年に一度、三重大大学の学生・教員・職員がともに大学をより良いものとして行くために協働して議論を行う機会として開催している。本年度は、サブタイトルに「学生、教員、職員で実現するユニバーシティ・エンゲイジメントプロジェクト」を掲げ、大学に誇りを感じ、皆が生き活きとしている状態の実現を目指し、サミットを開催した。

○目的

- ① 大学での学修や生活をより生き活きとした望ましいもの（エンゲイジメント状態）にできるよう、学生と教職員が協働する意識を育む（協働の機会）。
- ② 障がい学生や留学生を含むすべての学生が、充実した活動を送るための支援を、他者とともに企画・検討できる主体的な学生を育成する（人材の育成）。
- ③ 活動や仕組みを企画・検討するだけで終わらせることなく、三重大学発展のためのアクションにつなげ、大学環境の向上を図る（大学の発展）。

○テーマ・内容

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」を今年度のテーマとし、近年三重大大学においても問題視されている「交通問題」の改善について検討する。各自で出し合ったアイデアをポスターにまとめ発表し吟味する中で、大学環境の改善につながる具体的なアクションを模索した。

○成果物・実践

出てきた活動や仕組みに関するアイデアは、提案書として大学へ提出することや、学内のボランティア団体等による活動として実践につなげていくこととした。

○日時・場所

事前ガイダンス

日時：平成 29 年 7 月 19 日（水）14：40 ～ 15：00

場所：教養教育校舎 3 号館 1131 教室

学生支援サミット

日時：平成 29 年 7 月 26 日（水）13：30 ～ 16：00

場所：メディアホール

○対象

三重大大学に在籍する学生及び教職員 80 名（学生 60 名、教員 10 名、職員 10 名）を対象とすることを想定した。グループ活動の際には、8 名（学生 6 名、教員 1 名、職員 1 名）を 1 グループとして構成する。学生の募集については担当教員の講義内にて募集を行い、教職員については声掛けを個別に行う。職員については、各部署から集められるよう、各チームの若手職員を中心に募集をかけた。

○プログラム

13:10～13:30 (20 分)	受付
13:30～13:40 (10 分)	開会の挨拶 学生総合支援センター 副センター長 長屋祐一
13:40～13:50 (10 分)	学生支援サミットの活動内容の説明
13:50～13:55 (5 分)	グループで自己紹介（名前、所属等）
13:55～15:05 (70 分)	グループワーク（学生、教員、職員が協働して、交通問題解消のための具体的なアイデアを検討し、活動や仕組みについてポスターにまとめる。）
15:05～15:45 (40 分)	各グループのプロジェクト発表と質疑応答（5 分×6 グループ＋予備 10 分）
15:45～15:50 (5 分)	キャリア・ピアサポーター学生委員会、障がい学生支援室サポーターの学生より、感想と今年度以降の活動に向けて一言
15:50～15:55 (5 分)	ベストグループ・ベストアイデア表彰
15:55～16:00 (5 分)	閉会の挨拶 学生総合支援センター センター長 野崎哲哉

○主催

三重大大学 学生総合支援センター

3. 当日の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生 49 名、教員 9 名、職員 24 名の、計 82 名であった。これまでの学生支援サミットの参加者数よりも多い 80 名の参加を目標として設定し、目標数を達成する参加が得られた。

表 学生支援サミット 2017 参加者数

属性	参加者数
学生	49 名
教員	9 名
職員	24 名
合計	82 名

(参考)

表 参加学生の内訳

学部	参加者数
人文	23
生物資源	15
教育	4
工	5
医	2
合計	49 名

4. 当日の流れ

当日は以下のスライドの通りに進行を行った。

学生支援サミット2017

～学生、教員、職員で実現するユニバーシティ・エンゲイジメント・プロジェクト～

テーマ：「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

7月26日（水）13：30～16：00

三重大学 メディアホール
(総合研究棟 1階)



主催：三重大学 学生総合支援センター



開会の挨拶

学生総合支援センター

副センター長

長 屋 祐 一



主催：三重大学 学生総合支援センター



学生支援サミットとは？

- ▶ 年に1度開催される、学生・教員・職員がともに
三重大学を良くするために議論を行う機会

本サミットにて出された活動や仕組みに関するアイデアは、提案書として大学へ提出し、大学や学生による活動などの実践につなげ活用していきます。



学生支援サミットの活動内容

学生総合支援センター

障がい学生支援室

森 浩 平



主催：三重大学 学生総合支援センター



プログラム

- ①開会の挨拶（13:30～13:35）
- ②学生支援サミットの説明（13:35～13:40）
- ③交通問題に関する学内外の情報提供（13:40～13:45）
- ④グループワーク（13:45～14:55）
- ⑤各グループからのアイデア発表と質問タイム（14:55～15:40）
- ⑥結果発表と表彰（15:40～15:50）
- ⑦参加者からの感想（15:50～15:55）
- ⑧閉会の挨拶（15:55～16:00）

カフェサークル「Le Lien（ルリアン）」さんからのご協力で、
美味しい本格的なコーヒー、紅茶をご用意いただいています！

ユニバーシティ・エンゲイジメント・プロジェクトとは？

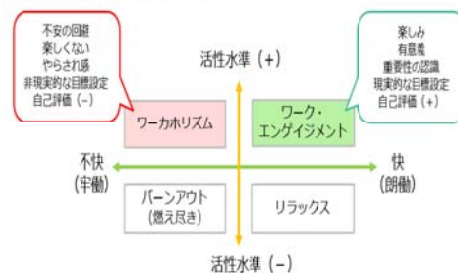


図 ワーク・エンゲイジメントと関連概念 (島津, 2009)

- ▶ ユニバーシティ・エンゲイジメント
「大学に誇りを感じて、熱心に取り組み、
大学から活力を得て、活き活きとしている状態。」

今年度のテーマ

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」



図 江戸橋交差点から半径1キロ以内の交通事故
(2014年1月～2017年7月現在まで)

範囲内において、
約3年半の間に
204件の交通事故...
(うち重症が19件)

津市の交通死亡事故は、
全国259都市中
ワースト70位
(下位3分の1に入る)

学生支援サミット2017

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ①キャンパス内放置自転車 500台

不要になり、放置された自転車は、キャンパス構内では、“ゴミ”として見えていませんか？

ところかまわず、放置された自転車は、皆さんの通行の妨げになり、けがをした人はいませんか？

駐輪場を占有している放置自転車って困りますね。

私たちのキャンパスを、きれいで、安全な場所に！ 自分の不要物は、他の人にとっても不要です。

処分する努力、処分せずに、生かす努力してみませんか？

学生支援サミット2017

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ②キャンパス内自転車盗難 「チョット借りました」

大事に乗っている自転車の盗難にあうと、がっかりしますね。
自転車に鍵をかけることはもちろんですが、
盗難された自分の自転車を見つけた時
自分の自転車を勝手に乗っている人を見つけた時の憤りや恐怖
ってどうですか。

学生支援サミット2017

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ③先輩等からの譲渡してもらった自転車

「利用できて、助かった」って思うことがありますよね。

でも、その自転車の構内乗り入れに関して、学内登録、防犯登録を更新していますか？

登録更新のメリット、デメリットについて確認してみませんか？

学生支援サミット2017

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ④大学周辺アパート等への無断駐車・無断駐輪

自分の家に、他人の自転車や自動車が駐輪駐車されていたら、
びっくりしますよね。

本来、駐輪、駐車する自転車・自動車が、駐輪、駐車できない
って困りますよね。

学生支援サミット2017

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ⑤イヤホン着用、傘さし自転車乗車

通学のマナー（歩行・自転車・電車・バス）

私たちのまち、私たちの通学・通勤するこのまちは、私たちだけの
まちではありません。

みんなが、気づいてほしいマナーがあります。

また、おかしいかと、本当は気づいていることはありませんか。

周囲を少し見まわしてみませんか。

学生支援サミット2017 「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ⑥大学周辺交差点の斜め横断 大事故の危険性有り

国道23号線沿いにある三重大、通勤・通学時は特に多い交通量を誇ります。

たったひとりの、交通ルール違反、交差点の斜め横断が、多くの人を巻き込む大惨事につながることもあります。

交差点の斜め横断の撲滅を図りませんか？

13

学生支援サミット2017 「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」

【三重大に寄せられた課題】

▶ ⑦危険を知ること、自分たちの問題だととらえることでできていますか？周知することが充分に行き届きません。周知のツールは、履歴申告等に使用する「ユニバ」しかありません。

☆三重大学構成員全て（学生、教職員、来学者他）に

☆三重大学構成員全てが会おう、このまちの人々に

伝えたいこと、ありませんか？

伝えるには、どうしたらよいと思いますか？

課題解決取り組みに参加してもらえるように、具体的は取り組みを一緒に考えませんか？

14

交通問題に関して

学生支援チーム課長
草 川 弥 生

主催：三重大学 学生総合支援センター

グループワークの内容

- ▶ 自己紹介
- ▶ 取り組みたい課題をいくつかグループで検討
（これまでに紹介したもの以外で思い当たる課題もぜひ挙げて頂ければと思います。）
- ▶ それぞれの課題について、
解決のためのアイデアを考案
- ▶ 各グループでスライドを使って発表（1グループ3分程度）
を行うので、発表用の資料を各PCを使って作成。

ディスカッション

課題①

解決策！

1. …
2. …

… →
（その他の課題について）

15

「ベストグループ」& 「ベストアイデア」を表彰

- ▶ 各グループに発表を行って頂き、その後、皆さんに「プレゼンやアイデアが良かったと思うグループ」と「素晴らしいと思ったアイデア」の2つについてアンケートで回答して頂きます。
- ▶ すべてのグループの発表が終わった後にアナウンスをしますので、下記のQRコードからアクセスをし、回答を行ってください。
- ▶ 「ベストグループ」&「ベストアイデア」を考案したグループには表彰と副賞を準備しています。

入賞を目指して、
ぜひ様々なアイデアをご検討ください！



17

グループワーク

主催：三重大学 学生総合支援センター

プロジェクト発表 質疑応答



主催：三重大学 学生総合支援センター



「ベストグループ」 & 「ベストアイデア」 表彰！



主催：三重大学 学生総合支援センター



学生支援サミット2017の感想

- ・ピアサポーター学生委員会より
- ・障がい学生支援室サポーターより



主催：三重大学 学生総合支援センター



閉会の挨拶

三重大学副学長
学生総合支援センター長
野 崎 哲 哉



主催：三重大学 学生総合支援センター



多くの方のご参加とアイデアを頂き、
誠に有難うございました。



主催：三重大学 学生総合支援センター



5. 参加者によって出された「交通問題」改善のためのアイデア

○アイデア一覧と投票率

「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」をテーマに、三重大学をより良くするための具体的なアイデアを学生・教員・職員がディスカッションを行い検討した。

また、その全8グループそれぞれがスライドを用いてアイデア発表を行い、どのアイデアが良いか、参加した学生・教員・職員から投票を行った。

表 各グループから出されたアイデアと投票率

順位	アイデア	グループ	投票数	投票率
1	駐輪マナーの悪い自転車の持ち主にペナルティを科す	8	27	33.8%
2	交通担当のサークル「交安（こうあん）」を作る	1	23	28.8%
3	毎年自転車登録シールを更新していく	4	15	18.8%
4	VRでのシミュレーション	6	12	15.0%
5	駐輪場利用料（江戸橋駅）の返却	3	11	13.8%
6	歩ける人は歩く	7	10	12.5%
6	駐輪可能区画、駐輪禁止区画にロードペイントをする	8	10	12.5%
6	自転車専用レーンの設置・左側通行	5	10	12.5%
9	組織間での連携	1	9	11.3%
9	スタートアップセミナーや授業で自転車問題の啓発を行う	6	9	11.3%
11	事故の写真を載せたポスターを作成する	7	8	10.0%
11	駐輪所に良心に訴えかける張り紙をする	8	8	10.0%
11	履修登録時に周知する	5	8	10.0%
14	キャンパスクリーンなどイベントの利用	3	7	8.8%
15	引き渡し制度	2	6	7.5%
15	各自転車番号の照会システムの確立	4	6	7.5%
15	駐輪所の増設	3	6	7.5%
18	買い取り制度	2	5	6.3%
18	学生の要望をくみ上げるシステム	4	5	6.3%
18	三重大公式 SNS で事故事例紹介、情報共有	6	5	6.3%
21	駐輪・駐車場のエリア分け	4	4	5.0%
22	不要になった自転車を引きとり安価で売り渡す	4	3	3.8%
23	駐輪所の増設	4	2	2.5%
23	放置自転車の撤去	7	2	2.5%
23	放置自転車の撤去	5	2	2.5%
23	図書館付近の自転車置き場を増やす	5	2	2.5%
27	人文学部棟、生物資源学部棟の駐輪所の活用	7	0	0.0%

※投票者数 80 名、投票総数 215 件であり、一人につき 3 つまで選択可とした。

○投票率が上位のアイデア

各グループから出された全 27 アイデアより、投票率の高かった上位 10 アイデアは以下の通りとなった。

①駐輪マナーの悪い自転車の持ち主にペナルティを科す

駐輪マナーを守らない学生については、簡単にはそういった行動をやめないと考えられるため自転車の持ち主は責任を持ち、守らなかった場合にはペナルティを科すといったアイデアが、学生側から挙げられた。

②交通担当のサークル「交安（こうあん）」を作る

交通問題に対して具体的なアクションを起こしていく組織が学内にあった方がよいのではないかと考え、交通安全問題に対して取り組む通称「公安」を作るといったアイデアが挙げられた。

③毎年自転車登録シールを更新していく

三重大学に駐輪する場合には、大学へ自転車登録申請を行い駐輪許可のシールが配布される。シールの登録を毎年更新制にし、シールの色などを変えていくことで、何年度に更新されているかを確認できるようになり、持ち主のわからない放置自転車を減らすことができるのではないかとアイデアが挙げられた。

④VR でのシミュレーション

VR（Virtual Reality）技術といった、コンピュータグラフィックスや音響効果を組み合わせ、人工的に現実感を作り出す技術が進歩している中で、交通事故などの危険性について、そうしたものを活かした理解の広め方があるのではないかとアイデアが挙げられた。

⑤駐輪場利用料（江戸橋駅）の返却

駅前や大学付近の駐輪場が有料のため、自転車を大学内に停めることが増えていると考えられるため、入れた硬貨が返却される無料の形式の駐輪場があればよいのではないかとアイデアが挙げられた。

⑥歩ける人は歩く

自転車の利用率が高いため、また健康の向上のためにも歩きでの通学などを推奨していくべきではないかとアイデアが挙げられた。

⑦駐輪可能区画、駐輪禁止区画にロードペイントをする

駐輪が可能な区間が明確になっていないため、無断駐輪が多いのではないかと考えられ、そうした区間をペイントし、無断駐輪をやめる意識をつけていくべきではないかといったアイデアが出された。

⑧自転車専用レーンの設置・左側通行

自転車専用レーンがある箇所もあるが、実際に守られておらず歩行者と自転車の交通整理がされていないため、専用レーンの整備が必要ではないかといったアイデアが出された。

⑨組織間での連携

学生から無断駐車などに関する情報をどこに伝えればよいのか、また学内のどういった組織が取り組むのか、現在どのような組織や学生委員会が対応できるのかを、共有できていないため、今後より連携を進めていくべきではないかといったアイデアが挙げられた。

⑩スタートアップセミナーや授業で自転車問題の啓発を行う

大学入学後のはじめのうちから、放置自転車やキャンパス内自転車盗難等について問題意識をすべての学生が持つよう、スタートアップセミナーや授業の中で紹介をしておくといった取り組みが必要ではないかといったアイデアが挙げられた。

○各グループからのアイデア発表スライド

各グループ（１～８）のアイデア発表においてのスライドは以下の通りとなった。

【グループ1】

放置自転車について

①グループ

1

【グループ1】

現状

キャンパス内放置自転車 500台

【ISO】定期的に見回り、タグ付け

【学祭】11月に一斉移動
(正門、南門、原付のとこの3カ所)

大変！！

2

【グループ1】

解決策①

交通担当のサークルを作る
「交通安全サークル」

その名も、、、

交安(こうあん)

3

【グループ1】

解決策②

キャンパス内の自転車を
ひとつの団体で管理するのは大変。

組織間での連携が必要

4

【グループ1】

まとめ

解決策①交安をつくる
解決策②組織間での連携

5

【グループ1】

その他の意見

交通マナーを改善したい

- ・新入生に対するガイダンスの強化
- ・上級生に対する呼びかけ
- ・学内自転車ルールをつくる
(乗車禁止ゾーンを設定する)

6

2班の発表

1

課題②③自転車盗難問題について…

原因→放置自転車

2

解決策

- **引き渡し制度**

使わなくなったもの（例えば、卒業生）を新入生に引き渡す
 ①卒業生の古い自転車→②生協・環境ISO→③新入生
 古い自転車を引き渡してくれた学生にはポイントを与える
 古くて乗れない自転車は学内で修理してから②に引き渡す

3

解決策

- **引き渡し制度**

- 広報について

→食堂や翠陵店にポスターを貼って周知活動
 譲渡されたものは新たな自転車の放置につながる可能性
 放置自転車の多さは自転車の盗難にもつながるのでは？

4

解決策

- **買い取り制度**

→使わなくなった自転車を大学が買い取る
 →自転車屋と提携することもできる…？

5

頑張って解決していこう！！

6

放置自転車問題

【グループ3】

1

【グループ3】

課題

1、学外の放置自転車

江戸橋前の駐輪場は1回100円

→システムが煩雑

・おじさんに話しかけて駐輪する必要がある

→急いでいるとどうしても煩わしい

→そもそも知らない

定期利用者の駐輪場が足りない

→学徒8000人に対し1500台

・半数が自転車を使うと仮定しても足りない

2

課題

2、三重大内の放置自転車

卒業時に放置する

・捨てる手段が周知されていない

・捨てるのが面倒

・ペナルティが実質ない

壊れた自転車を放置する

・同じく、捨てる手段が周知されていない

【グループ3】

3

【グループ3】

解決策

1、・利用料の返却

・駐輪場の増設

→市に訴えてもらう

4

【グループ3】

5

2、・キャンパスクリーンなどのイベントの利用

→報酬として、ポイントや単位の付与

・言うだけでは現実的な解決策にはなりにくい

【グループ3】

6

☆まとめ

・全体として周知されていないことが原因による放置・廃棄が多い。
→情報の共有が求められている。

・学校が主体となった周知や、学生による自治・自主的な清掃が求められる。

・放置した場合の何らかのペナルティ、清掃に参加した場合の褒章がほしい。

三重大大学と 自転車マナー

学生支援サミット2017 グループ4

自転車にまつわる課題

- ▶ キャンパス内放置自転車の多さ
- ▶ 構内や道路のキャパシティ不足
- ▶ 自動車のキャパシティオーバー

解決策

- ▶ 不要になった自転車を引き取り、必要な人に安価で売り渡す。
- ▶ 自転車シールを毎年更新にするとわかりやすくなる。(販売)
デポジット制もあり。

解決策 2

- ▶ 構内や道路のキャパシティを増やす。駐輪場の増設。
- ▶ 登録時に、放置自転車になったとき回収してもよいかを確認する。

解決策 3

- ▶ 自転車と自動車の駐輪・駐車場のしっかりとしたエリア分け
- ▶ 学生の要望をくみ上げるシステムの構築

学内の交通事情 について

5班

不満

- ・自転車と歩行者がどこを通ったらいいか分からない
- ・通り道に自転車多いときがあって通れない時がある
(特にテスト週間の図書館前)

課題

- ・通り道を明確に
- ・自転車の管理を厳しくする
→整理できるように

提案①

- ・自転車専用レーンの設置
- ・左側通行
→周知
履修登録の時に、必ず目を通さないといけないページをつくる
- 継続
立て看板の設置

提案②

- ・放置自転車の撤去
→登録の徹底
- ・図書館付近の自転車置き場を増やす
例)・翠陵店横のベンチのスペース
・図書館とメープルの間の人文棟に続くアーケードの道

【グループ6】

自転車問題の課題 と 解決策について

グループ6

1

【グループ6】

三重大学生の自転車マナーが 悪い！！！！

- ▶ 並走
- ▶ 飛び出し
- ▶ 斜め横断
- ▶ イヤホン
- ▶ スマホ
- ▶ 傘さし運転
- ▶ Etc・・・

なぜこんなにマナーが悪い？

みんながやっているから？
当事者意識が薄いから？
時間ギリギリで行動しているから？
自転車乗る機会が多く慣れてきている？

2

【グループ6】

解決のためには！ 【当事者意識（自覚）を植え付ける】

- ◆スタートアップセミナーや授業で自転車問題の啓発を行う！
事故現場の現場紹介、事例紹介など。
定期的（年1回）に行えると効果的！（自動車免許の更新のような・・・）
- ◆三重大公式SNSで事故事例紹介、情報共有
- ◆VRでのシミュレーション（学祭での出し物や健康バオのように）

3

【グループ7】

自転車の課題

7グループ

1

【グループ7】

学内の問題

- ▶ 図書館・翠陵会館前に駐輪している自転車が
多い
- ▶ 交通の邪魔になっている
- ▶ 駐輪場が足りない

2

【グループ7】

学内の問題の改善策

- ▶ 歩ける人は歩こう！
(消費カロリー表示)
- ▶ 人文学部棟や生物資源学部棟の駐輪場の活用
- ▶ 放置自転車の撤去

3

【グループ7】

学外の問題

- ▶ 丸亀製麺前交差点付近の危険

4

【グループ7】

学外の問題の改善策

- ▶ 事故の写真を載せたポスターを作成する
- ▶ 学内のトイレに貼る

5

【グループ8】

課題と解決策

学生の自転車マナー向上に

1

【グループ8】

課題

- ▶ 駐輪マナーが悪い
 - ・駐輪用ラックが利用されない。
 - ・道に広げて駐輪される。
 - ・テスト期間の図書館前は特にひどい

2

解決策

【グループ8】

- ▶ 駐輪マナーの悪い自転車の持ち主にペナルティを科す
例：鍵をかける、僻地に移動させる
- ▶ 駐輪場に良心に訴えかける張り紙をする
例：いつもきれいに停めていただきありがとうございます。
- ▶ 駐輪可能区画または駐輪禁止区画にロードペイントをする
例：教養教育1号館前、工学部前の道路

3

6. 資料

- 学生支援サミット 2017 ポスター
- 表彰状
- 三重大学ホームページ トピックス掲載記事

これらの資料を下記に載録する。

学生支援サミット2017

テーマ：「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」



今年度は、「交通問題」をテーマに、学生・教員・職員が協働しながら交通マナーやルール、設備や体制などについてディスカッションをし、より良い三重大学となるよう考えていきます。

詳細につきましては、事前説明会にて紹介していきますので、こちらもぜひ参加し、十分情報・知識を仕入れて学生支援サミットに備えましょう。

事前説明会

7月19日（水）14：40～15：00

会場 三重大学 教養教育校舎3号館 1131教室

※ 事前説明会に参加できない方も、学生支援サミットのみに参加することが可能です。

学生支援サミット

7月26日（水）13：30～16：00

会場 三重大学 メディアホール
（総合研究棟II 1階）



参加者募集

交通問題は、みなさんの命や環境に関わる重要な課題です。

普段接点のない学生や教職員の方々とお話しをする機会、そして何か大学に役立つ体験や、課題解決のための具体的なアクションを提案していきたいという学生、また教職員の方々は、ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

まずは エントリー

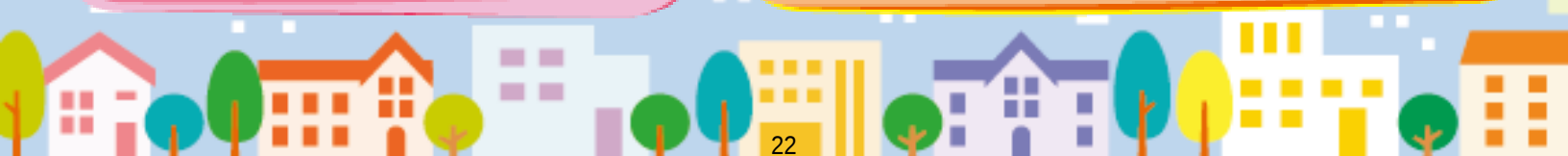
参加をご希望の方は、
右記のQRコード
（またはURL）から
エントリーをお願い
いたします。



<http://urx.mobi/E6yh>

お問い合わせ先

三重大学 学生総合支援センター（担当：森）
MAIL：gs-summit2017@ev.mie-u.ac.jp





学生支援サミット 2017 「ベストグループ賞」

殿

貴方は三重大学学生総合支援センター主催の学生支援サミット2017において、三重大学の発展に寄与する素晴らしいグループ発表を行いましたので、これを賞します。

平成 29 年 7 月 26 日

三重大学学生総合支援センター

センター長 野崎 哲哉





学生支援サミット 2017 「ベストアイデア賞」

殿

貴方は三重大学学生総合支援センター主催の学生支援サミット2017において、三重大学の発展に寄与する素晴らしいアイデアの発表を行いましたので、これを賞します。

平成 29 年 7 月 26 日

三重大学学生総合支援センター

センター長 野崎 哲哉



「学生支援サミット2017～学生、教員、職員で実現するユニバーシティ・エンゲイジメント・プロジェクト～」が開催されました

2017年08月04日

7月26日(水)、総合研究棟Ⅱメディアホールにおいて、「学生支援サミット2017～学生、教員、職員で実現するユニバーシティ・エンゲイジメント・プロジェクト～」が開催されました。



本サミットは、学生・教員・職員が協働しながらディスカッションをし、より良い三重大学となるよう考えていく貴重な機会として、学生総合支援センター主催で毎年開催されているイベントです。

本年度は「誰もが安心できる安全なキャンパスの実現」をテーマに、学生・教職員合わせて82名が参加し、学生総合支援センター障がい学生支援室 森浩平講師の進行のもとサミットが行われました。

冒頭、学生総合支援センター副センター長 長屋祐一准教授から「学生と教職員が力を合わせて、より良いアイデアを出していきましょう」と開会の挨拶がありました。

学内外の交通問題について、「キャンパス内の自転車の盗難」「大学周辺アパートへの無断駐輪・無断駐車」など、実際に三重大学に寄せられた意見・課題を例に挙げ、学生・教職員を交えた10人ほどの8グループに分かれ、それぞれに課題を選んで解決のアイデアを考案しました。



会場内ではカフェサークル「Le Lien」のコーヒー・紅茶も振舞われ、和気あいあいとした雰囲気の中で、各自の実体験も交えた活発な話し合いが行われました。

ディスカッション後の発表では、各チームから個性あふれるユニークなアイデアが発表され「交通安全サークルを作る」「自転車の買い取り・引渡し制度を作る」「駐輪場の増設」「マナーの悪い人へのペナルティを科す」などが提案されました。

また、発表後には参加者投票により、「ベストグループ賞」「ベストアイデア賞」がそれぞれ選ばれ、表彰が行われました。

閉会の挨拶として、野崎哲哉 副学長(学生総合支援・インターンシップ担当)から「学生の皆さんからいただいた今日の意見をまとめて大学へ提言し、実現していきたい。」とお話があり、今後の進展が期待される有意義なサミットとなりました。



編集：三重大学学生総合支援センター

